

ポルトガル月報

2019年12月

(本月報は報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

【内政】★政府の組織及び機能に関する基本法の公布／★ポルトガル政府が2020年度予算案を議会に提出

【外交】★コスタ首相がCOP25に出席／★ポンペオ米国務長官のポルトガル訪問

【経済】★ポルトガル中銀、マクロ経済指標見通しを発表

内政

★政府の組織及び機能に関する基本法の公布

12月3日、第2次コスタ政権の組織及び機能に関する基本法(Lei Organica do Governo)が官報に公布された。第2条には閣僚の階層的順序が掲載され、上位4大臣のシザ・ヴィエイラ経済・デジタル移行大臣、サントス・シルヴァ外務大臣、ヴィエイラ・ダ・シルヴァ閣議大臣及びセンテーノ財務大臣は他閣僚よりも重要な役割を担う「Ministro de Estado」と指名されている。第12条には政府の戦略的課題に関する省庁間のコーディネートを担当する大臣が掲載されており、シザ・ヴィエイラ大臣はデジタル移行、ヴィエイラ・ダ・シルヴァ大臣は人口及び不平等、フェルナンデス環境・気候変動大臣は気候変動分野の施策を担当することとなる。

●リベラル自由党(IL)の新党首選出

12月8日、共和国議会に1議席を持つリベラル主導党(IL)は、党大会を開催し、フィゲイレードIL議員が新党首として選出された。

★ポルトガル政府が2020年度予算案を議会に提出

12月16日、ポルトガル政府は、2020年度政府予算案を議会に提出した。同予算案は、民主主義以降、初めてとなる財政収支の黒字化(対GDP比0.2%の財政黒字)が目玉政策となっている他、財政健全化政策の継続、国家保健制度(SNS)の予算枠の強化、第2子以降を持つ家族に対する所得税率の引き下げ、年金額の引き上げ、公共交通機関及び公的サービス向上のため

の予算額強化等の政策が含まれている。

1月9～10日、国会において、本予算案の第1回全体審議が行われ、10日の全体採決では、与党・社会党(PS)の賛成108票、ポルトガル共産党(PCP)、緑の党(PEV)、左翼連合(BE)、人と動物と自然の党(PAN)、自由党(Livre)及び社会民主党(PSD)マテイラ支部議員3名の棄権39票、最大野党社会民主党(PSD)(マテイラ支部議員を除く)、民衆党(CDS)、リベラル主導党(IL)、シェーガ党(CH)の反対83票により賛成多数で承認された。同予算案は、2月4～6日に個別委員会による修正案審議を経て、2月7日に最終全体採決が行われる予定。

●政府閣僚、クリスマス前にレベロ・デ・ソウザ大統領へ挨拶

12月16日、コスタ政権の閣僚がレベロ・デ・ソウザ大統領へのクリスマス休暇前の挨拶に訪れた。

コスタ首相は、大統領との健全な関係を維持しつつ、政府が今後4年間に直面する気候変動、不平等及びデジタル移行等の戦略的な課題について共に立ち向かうべきである旨述べた。

●世論調査結果—12月

12月23日、ジョルナル・デ・ネゴシオス紙は、インテルカンプス社が実施した世論調査結果を発表した。10月の共和国議会選挙以降、与党・社会党(PS)の支持率は微減し、最大野党・社会民主党(PSD)の支持率

は微増している。小政党の中では、特にポピュリスト政党のシェーガ党(CH)の支持率が伸びている。

同社による最近の政党別支持率は以下のとおり。

政党%	10月	11月	12月
社会党(PS)	35.6	34.9	33.9
社会民主党(PSD)	24.8	24.9	25.7
左翼連合(BE)	10.7	10.8	10.7
ポルトガル共産党(PCP)	6.9	8.1	6.3
人と動物と自然の党(PAN)	5.3	4.8	6.1
民衆党(CDS)	4.4	2.9	3.9
シェーガ党(CH)	2.5	4.8	5.7
リベラル主導党(IL)	0.8	2.9	2.4
自由党(Livre)	2.7	2.7	1.1

■調査期間：12月12～17日、対象者：ポルトガル本土居住の18歳以上の有権者606人、調査方式：固定及び携帯電話番号を無作為に抽出、回答率：64.7%、統計上の誤差：約4%

外交

★コスト首相がCOP25に出席

12月2日、コスト首相は、マドリードで開催された国連気候変動枠組条約第25回締約国会議(COP25)に出席した(マトス・フェルナンデス環境・気候変動担当大臣同席)。同会議の開会式において、コスト首相は、気候変動に対し迅速に行動を起こすことの重要性、ポルトガルでは既に消費エネルギーの54%を再生可能エネルギーでまかなっており、2020年にリスボンが南欧で初の欧州環境都市となること等についてスピーチを行い、2050年までにカーボンニュートラル(気候中立)を実現するため、ポルトガルは2030年までに8割の電力需要を再生可能エネルギーとすることを目標としており、これに先立ち2021～23年の間に国内残り2基となった石炭火力発電所を閉鎖することを決定し、クリーンエネルギーであるグリーン水素を増産し、天然ガス用に使われている既存のパイプライン及び海上輸送を用いて輸出することを考えている旨述べた。また、各国間の相互連結に関し、ポルトガルは既にモロッコと相互連結に関する協力協定に合意し、スペイン及

びフランスを通じて欧州とも連結し、国内で生産しうる再生可能エネルギーを各国とシェアしていくことを考えている旨付け加えた。

ポルトガルとケニアは、2020年6月2～6日にリスボンで国連海洋会議(2020 UN Ocean Conference Lisbon)を共催する。

●コスト首相がNATO首脳会議に出席

12月3～4日、コスト首相は英ロンドンで開催されたNATO創設70年記念首脳会合に出席した(サントス・シルヴァ外相同行)。会合後、コスト首相は、ツイッターにおいて、大西洋諸国間の連帯は平和と安定を保証するために不可欠な存在である旨述べた。

★ポンペオ米務長官のポルトガル訪問

12月5日、ポンペオ米務長官がポルトガルを訪問し、コスト首相と会談した(サントス・シルヴァ外相及びクラヴィーニョ国防相同席)。同会談では、ラージェス米空軍基地、アフリカ沖の防衛に関する新規プロジェクト、ベネズエラ問題等が議題となった他、米国のCPLPへのオブザーバー参加申請、ポルトガルにおける港湾事業等の戦略的インフラ及び5G通信網のセキュリティ問題及び米国内の140万人にのぼるポルトガル系コミュニティの存在等に関する意見交換が行われた。

●サントス・シルヴァ外相がEU外務理事会に出席

12月9日、サントス・シルヴァ外相は、ブリュッセルで開催されたEU外務理事会に出席した。同理事会では、国際情勢の他、2020年に予定されているEU・アフリカ連合の次期閣僚会議及び首脳会合の準備等に関する議論が行われた。

●サントス・シルヴァ外相がアルゼンチン大統領就任式に出席

12月10日、サントス・シルヴァ外相は、ポルトガル政府を代表し、ブエノスアイレス市で開催されたアルベルト・フェルナンデス・アルゼンチン大統領の就任式典に出席した。同就任式のマージンにおいて、同外相は、アルゼンチン外相及びスペイン、メキシコ、ブラジル、米国、ペルーの政府代表とそれぞれ会談した。

●コスタ首相が欧州理事会に出席

12月12～13日、コスタ首相は、ブリュッセルで開催された欧州理事会に出席した。同理事会では、気候変動対策について、EUとして2050年までにカーボンニュートラル（気候中立）を実現するという目標の合意が行われた他、次期多年次財政枠組み、欧州安定メカニズムの改革等に関する議論がされた。

●ポルトガル米国二国間委員会第42回会合の開催

12月17日、リスボンにおいて、ポルトガル米国二国間委員会第42回会合が開催された（フェザス・ヴィタル在米ポルトガル大使、グラス在ポルトガル米国大使、コルデイロ・アソーレス州知事ら出席）。同会合では、二国間共通の戦略的課題、大西洋同盟、海上安全保障、投資のスクリーニングに関する意見交換が行われた他、安全保障・防衛分野におけるポルトガルと米国の緊密な協力関係及びNATOの枠組みにおけるそれぞれのコミットメントを再確認した。

●ポルトガルが「欧州ハイブリッド脅威対策センター」に参加

12月17日、ポルトガル政府は、フィンランドにある「欧州ハイブリッド脅威対策センター（The European Centre of Excellence for Countering Hybrid Threats – (Hybrid CoE)）」に参加した旨を発表した。同センターは、EU・NATOの共同宣言に基づき、2017年に設置され、参加国及び機関に対し、ハイブリッド脅威に関する理解及び対策を促進することを目的としている。

現時点の参加国は、オーストリア、カナダ、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、モンテネグロ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、トルコ、英国及び米国。

●コスタ首相、イラクで自国兵士を激励

12月18日、コスタ首相はイラクを訪問し（ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣同行）、バグダッド近郊のビスマヤ基地に駐留するポルトガル人兵士30名を激励した。

●サントス・シルヴァ外相がポラマツウィナイ・タイ外相と会談

12月18日、サントス・シルヴァ外相は、リスボンを訪問したポラマツウィナイ・タイ外相と二国間貿易及びタイのポルトガルへの投資額の増加等について会談した。

●コスタ首相のインド訪問

12月19日、コスタ首相はインドを訪問し、モディ・インド首相と良好な二国間関係の強化及びインドのポルトガル語圏諸国共同体（CPLP）へのオブザーバー参加申請等について意見交換した。その後、コスタ首相は来賓としてマハトマ・ガンディー生誕150周年記念式典において演説した。

2020年2月13～17日には、レベロ・デ・ソウザ大統領がインドを訪問する予定。

●レベロ・デ・ソウザ大統領、アフガニスタンの自国兵士を激励

12月22日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、アフガニスタンを訪問し（ゴメス・クラヴィーニョ国防大臣及びフォンセカ陸軍参謀総長同行）、首都カブールに駐留するポルトガル人兵士を激励した。

経 済

●ポルトガル・日本投資セミナーの開催

12月3日、英ロンドンにおいて、ポルトガル・日本投資セミナーが開催された（共催：在英ポルトガル大使館、ポルトガル投資貿易振興庁（AICEP）、ポルトガル・イン（注：BREXITを契機とした英国からの投資の呼び込みを目的に、コスタ首相のイニシアティブで設立された組織）。同セミナーには、コスタ首相をはじめ、プリリヤンテ・ディアス外務省国際化担当副大臣、エンリケスAICEP長官、トリンダーデ・ポルトガル・イン長官らが参加した。閉会の挨拶を行ったコスタ首相は、今後、より多くの日本企業がポルトガルに進出することを期待している旨述べた。

★ポルトガル中銀、マクロ経済指標見通しを発表

12月18日、ポルトガル中央銀行は、2019～2022年のマクロ経済見通しを発表し、ポルトガル経済

が景気減速の傾向であると指摘している。2020年の経済成長率は1.7%と予測されている。

主要経済指標は次のとおり。

(%)	2018年	2019年 (*)	2020年 (*)	2021年 (*)	2022年 (*)
GDP 成長率	2.4	2.0	1.7	1.6	1.6
個人消費	3.1	2.3	2.1	1.9	1.7
政府消費	0.9	0.5	0.8	0.8	0.8
公的固定 資本形成	5.8	7.3	5.4	4.8	4.3
内需	3.3	3.1	2.6	2.2	2.0
輸出	3.8	2.8	2.6	2.8	3.0
輸入	5.8	5.4	4.6	4.2	3.9
失業率	7.0	6.3	5.9	5.6	5.6
インフレ 率	1.2	0.3	0.9	1.2	1.4

(*) 予測値

(了)